

▼メッセージ

CNCP 設立 10 周年を迎えて (1)

CNCP 通信は、2014 年 5 月号の発刊から毎月欠かすことなく発行し、今度の 4 月号 (Vol.120) で、ちょうど 10 年になります。これを機に、現在の正会員と理事・監事の皆様から、お言葉をいただきました。CNCP の設立準備から関わってこられた先輩方も数多くいらっしゃいます。当時は振り返った話、思い出、お祝い、将来に向けた期待など様々。是非お目通しを。

【掲載は届いた分の 50 音順】

●岩佐宏一 (CNCP 常務理事/アイセイ株式会社/インフラテクコン実行委員会)

関係者のみなさま、この度は誠におめでとうございます。

「豊かなくらしの礎をこれまでも、これからも」。

CNCP は土木学会 100 周年で設立され、今年で 10 年を迎えます。現在 CNCP のプラットフォームを活用してインフラテクコン、インフラメンテ国民会議市民参画フォーラム、CSV 研究会、CCRC、うなぎ養殖整備、EBPM への RCT 活用の 6 つのプロジェクトが動いております。どのプロジェクトも社会的厚生を高め、暮らしの礎を将来に繋げる活動をしております。これらプロジェクトが継続的かつ、社会的な影響を与えることにより、社会がより発展できると信じております。引き続き CNCP にご興味いただき、是非ご一緒に活動を進めていただけますようお願いいたします。

●小重忠司 (株式会社サンエコセンター)

CNCP 設立 10 周年おめでとうございます！

「うなぎ持続可能プロジェクト SEFI」の副代表を務めさせていただいております。10 年前、NPO 法人埼玉県建設発生土リサイクル協会の事務局長として CNCP に参加させていただきました。あれから月日が流れ、熱海の土石流災害をきっかけに盛土規制法が強化され、現在、(一社) 全国建設発生土リサイクル協会でも活動しております。うなぎの問題も研究して分かった事ですが、自然の力に人間がどのように対応していくかがインフラを整備する我々の使命だと感じております。これからも CNCP がその一翼を担うことを期待し、お祝いの言葉とさせていただきます。

●小松淳 (CNCP 理事/土木学会土木広報センター/日本工営ビジネスパートナーズ株式会社)

CNCP が土木学会 100 周年記念事業の一つとして設立されたことから、もともとつながりがあり、CNCP 通信ヘシリーズ「土木ということば」全 24 回 (Vol.49: 2018 年 5 月~Vol.72: 2020 年 4 月) を連載させてもらったことは、調査研究の成果をわかりやすく伝える文章力の鍛錬の場になりました。その後、Web サイトや CNCP 通信を通じて、さまざまな角度から「土木のはなし」が語られ、「土木ということば」を真ん中に据えて活動が広がっていることをうれしく思っています。これからもぶれずに「土木」のことを語って、つながりを広げていきましょう。

●五艘章 (NPO 法人建設技術監査センター)

CNCP には創設時の有岡・皆川理事の誘いを受けて、山本代表理事の「土木と市民社会をつなぐ」思想に賛同し 3 名の仲間が参加しました。特に青山俊樹座長による「性能発注勉強会」で、現在の公共工事発注方式の問題点の解決策を学ぶ事が出来た。今後は当 NPO の総力を結集して「性能を重視した PDB」の普及に取組みたい。

●世古一穂（CNCP 理事/NPO 法人 NPO 研修・情報センター）

私たちの NPO 法人が設立から 10 周年を迎えることを心からお祝い申し上げます。この節目の年に、理事として皆様にお礼を申し上げると同時に、私たちの成果と共に未来への展望を共有したいと思います。私たちの NPO 法人は、土木と市民社会を結ぶ使命を掲げ、地域の発展と社会の福祉に貢献することを目指して活動してきました。これまでの 10 年間で、私たちは数々のプロジェクトを実施し、地域のインフラ整備や環境保護、災害復興などに取り組んできました。また、市民の皆様との協力や連携を通じて、地域の課題解決に向けた活動を展開してきました。

私たちの成功は、皆様のご支援とご協力のおかげです。地域の企業や団体、個人の皆様からの会費や、寄付やボランティア活動によって、私たちはさまざまなプロジェクトを実現することができました。心から感謝申し上げます。

さらに、私たちはこれからも地域の発展と社会の福祉に貢献するために努力を続ける必要があります。地域の課題に対して柔軟なアプローチを取り、持続可能な解決策を提案して参りましょう。また、市民の皆様との連携を深め、より多くの人々が参加できる活動を展開していきましょう。

私たちの NPO 法人は、これからも地域の発展と社会の福祉に向けて努力を続けたいものです。皆様のご支援とご協力をいただきながら、より良い社会の実現に向けて邁進してまいります。

心より感謝申し上げます。

●多和田俊介（NPO 法人社会基盤ライフサイクルマネジメント研究会/(株)アイエスエス）

当研究会は社会インフラに関する調査、研究および政策提言等を通じ、インフラの利益増進に寄与することを目指して、現在は 2 つの分科会を中心に活動しております。「インフラメンテナンス分科会」は、メンテナンスの重要性を分かりやすく地域住民に伝えていくことを目指し、身近にある「橋」の清掃、親子で一緒に学ぶインフラ講座開催といった活動を行っています。「インフラ・リデザイン分科会」では自動運転本格化で変わる生活と社会インフラの検討、社会課題とその対応策に関する調査等を通じ、身近なインフラのリデザインを検討しています。CNCP とは各活動、イベント等積極的に情報共有を図り、今後も協力して一緒に業界全体を盛り上げていきましょう！

●辻田満（NPO 法人シビルサポートネットワーク）

2014 年 CNCP 設立は、遡る事 5 年前の 2009 年某小委員会のワーキンググループ「NPO 調査研究グループ」の活動に端を発します。ワーキングメンバーである内藤堅一氏、有岡正樹氏、駒田智久氏、比奈地信雄氏、松本健一氏らが主力として活動を開始し、私もメンバーとして加えて頂きました。2012 年には CNCP の前身組織となる建設系 NPO 連絡協議会を立ち上げて建設系 NPO 中間支援組織設立構想を提唱し、土木学会 100 周年記念事業の一環として認定され CNCP 設立に至りました。この 5 年間の活動は報告書に詳しくまとめられており、当時事務局としてご尽力いただいた内藤堅一氏、有岡正樹氏、駒田智久氏、比奈地信雄氏、松本健一氏らの並々ならぬ熱い想いが伝わって参ります。

●皆川勝（東京都市大学）

シビル NPO 連携プラットフォームや土木学会の成熟したエンジニアの方々の活動が発展して、CNCP が設立された時、種々のお声がけをいただき参画できたこと、大変嬉しく、その後の小生の教育活動に大きな影響を受けました。一部の方とオーストラリア視察に行けたことも良い思い出です。社会の変革に前向きになれない体制を打破して、前進されることを祈念します。

●山崎晶（CNCP 理事/株式会社熊谷組）

かつて CNCP の委員会に出席した際、お名前は聞いていたが元土木学会会長の山本卓朗代表自らも参加され議論に加わり積極的に発言されていた。自分のような若輩者が、山本代表や土木界で経験豊かな方々と同じ席で様々なお話を聞け、意見が交換できることに、大変驚いた。人は、社業を行うだけでなく、名著の読書や師と仰げるような先輩方との交流により、自身の成長ができると思う。CNCP はまさにそのような活動の場を提供しており、私自身、賛助会員である弊社の職員には積極的に CNCP での活動参加を勧めている。